

隠岐の島町都市計画審議会議事録

日 時	令和 2 年 2 月 20 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 00 分
場 所	役場 2 階 第 1 会議室
出席者	<p>都市計画審議会委員</p> <p>吉田雅紀 村上謙武 前田芳樹（欠席） 福田 晃（欠席） 大江 寿 遠藤義光 谷田 晃（欠席） 浜崎 晃 新宮雄太 佐々木賢治</p> <p>事務局（建設課） （課長）田中 （課長補佐）石田 （企画幹）西尾</p>
(1) 課長あいさつ	
(2) 都市計画審議会委員の出欠について確認（事務局）	
・本日の審議会は委員 10 名中 7 名出席。	
(3) 議案 1. 立地適正化計画策定について	
1) 事務局（石田課長補佐）より概要説明	
2) 質疑	
<p>（村上委員）</p> <p>10 年の計画と書いてあるが、ターミナル一つにとってもスペースが必要ですし、用地をどういう風に確保していくのか、どういった形のターミナルになるのか、イメージがわからない。具体的にみんながイメージできるようなジオラマ模型のようなものを少しずつ作って、そうすればイメージできる。一番難しいのは予算。予算が確保できるのか。また、周辺に住んでいる住民の方の本意を十分に聞いた上で進めていかないといけない。すぐにできればいいが今のままだと具体的に進んでいかないのではないか。計画というより構想から少し進んだ段階だと思う。少なくとも予算をとらないとできない。</p>	
<p>（事務局）</p> <p>言われることはわかる。これは基本構想から一步進んだ基本計画になっている。村上さんが言われるのは具体的にどんなものができるか書かれてないのでイメージがしにくいと思う。この次にこの先どういったスケジュールで整備していくのかを説明するのでそれを聞けばわかると思う。</p>	
<p>（村上委員）</p> <p>愛の橋をとってもなかなか進まない状況。道を整備するといっても用地買収もあるので難しいと思う。足元をみて進めてほしい。10 年とあるが 20 年 30 年かかると思う。</p>	
<p>（佐々木委員）</p> <p>経済の中心が港周辺から平の方に少しずつ変わっていく中で、なぜ今、港周辺を整備していくのか疑問。</p>	

(事務局)

計画の必要性というところにもあるが、町の総合振興計画で玄関口の活性化をうたっているがどういった位置づけでどういった風に活性化させるのかといった具体的なものがなかった。県の計画でも一番の交通拠点となる玄関口が商業業務地として中心的役割をはたさないといけないと言いながらその役割をはたせる作り方ができていなかったのが現状。玄関口に目を向けたのは今回からではなくて、ずっと前からやらないといけないと言っているが発がなかなかできていなかったで去年から向かったところである。

(遠藤委員)

商業地域は郊外にうつりながら、中心市街地はベッドタウン化している。行政主導で区画整理する予算が確保できないと思う。まずは港を中心にして交通拠点を整備してから先に進めたほうが良いと思う。また、旧街並みを楽しむため、八尾川の景観をジオパークとからめてなるべくコンクリート化せず昔からの石積みを残して観光にもつなげてほしい。

(大江委員)

一番早く取りかかれることは、照明を明るくすることだと思う。照明が明るくなれば犯罪も起こりにくくなると思うがどうか。

(事務局)

都市再生整備計画を今後実施していくことになるが、飲み屋街である長谷川小路の改修も計画している。

議案2. 立地適正化計画策定について

1) 事務局 (石田課長補佐) より概要説明

2) 質疑

(佐々木委員)

少子高齢化が進んでいるが、隠岐の島町内に 385 ヘクタールの水田があるが、都市計画策定するにあたって緑というワードはでてこない。緑とか海とか協調性のあるまちづくりを進めるべき。近年、農地にいろいろな施設が建っている状況の中で、土地を購入とか建設しやすい土地にそれぞれの方が建設するのではなくて、町が守っていくエリアなのか明確に決めていく必要がある。隠岐の自然と向き合った農業の確立をしながらまちづくりの計画の色分けをしていてもらいたい。

(村上委員)

まちづくり計画とか立地適正化計画とかこんなに計画が必要かというぐらいあるが、説明を受けたものは何となく理解できるが、住民の方はわかりにくいと思う。きちんと何の目的の計画なのかわかるように公開する際に気を付けてもらいたい。

議案3. 西郷都市計画区域変更の進捗状況について

1) 事務局 (石田課長補佐) より概要説明

2) 質疑

なし

